

12月行政報告

平成20年12月5日提出

= 総務課 =

- 1 11月9日～16日までの間、秋の全国火災予防運動が行われました。町では防火広報パトロールを行い、町民に火災予防を呼びかけたほか、11月15日には町消防団、国坂浜自衛消防団による合同模擬火災訓練を約80名の参加により実施しました。訓練は、夜間に国坂浜地内で火災が発生、延焼拡大したことを想定し、自衛消防団の初期消火活動や避難誘導、町消防団の情報把握、伝達及び各分団の消火活動と連携について実践を通して確認しました。
- 2 11月11日午前9時10分ごろ、北栄町みどり一区地内で火災が発生し、羽合消防署、町消防団第1・2分団が出動し消火にあたりましたが、木造平屋約54㎡を全焼しました。
- 3 11月20日、自治会長会を開催しました。主な協議事項、出された意見等は次のとおりです。

主な協議事項

- ・自治会に対する補助金の一部見直しについて
自治会への補助金の明確化と自衛消防費補助金の一部見直し
- ・平成21年度自治会要望について
平成21年度予算編成にあたっての各自治会の町に対する要望の取りまとめ
- ・平成21年度消防出初め式について
平成21年1月4日(日)開催 参加のお願い
- ・音声告知器等の運用統一について
- ・除雪作業協力体制について
午前3時の積雪が15cm以上で実施
- ・農業委員会委員選挙人名簿登録申請の取りまとめについて
- ・和田見里美後援会の報告について
11月8日後援会総会開催、決算が承認された旨の報告

自治会からの主な要望事項

- ・火事の放送が地名でされるため、どの自治会かわからない。例えば「江北」といっても広いので、自治会名での対応をお願いしたい。
 - ・住民検診を今年度の6月から受診しやすい時期に変更してほしい。
 - ・最近ごみ収集が決められた時間より早い。また、収集車のスピードが速いので業者に改善するよう指導してほしい。
- 4 ふるさと北栄基金への寄附は、平成20年12月2日現在で12件、1,490,000円となっております。内訳は県内5件、県外7件。5万円未満が6件、5万円が2件、10

万円が3件、100万円が1件となっております。また、寄附先として希望された事業は、環境保全に4件215千円、子どもの教育・健全育成に10件1,275千円となっております。

5 今後の行事予定は次のとおりです。

- ・平成21年1月4日(日)午前9時30分から 平成21年消防出初め式
1年間の防災の決意を新たにするため、町消防団及び各自治会自衛消防団・婦人消防隊参加のもと大栄中学校体育館において開催します。また、式終了後、一斉放水を由良川で行います。

= 企画振興課 =

1 11月5日、ホープスターとっとり大広間において、平成20年度第2回県・市町村行政懇談会が開催されました。県からは平井知事、藤井副知事、幹部職員ら約30名、また市町村からは各首長又は代理者と随員1名の計38名が参加し、県・市町村の行政課題等について意見交換が行われました。北栄町からは松本町長と田中企画振興課長が出席しました。

北栄町からは、集落営農組織の支援について 地すべり対策事業について 住宅・建築物改修等事業について 下水処理場(公共下水道と農業集落排水)の統廃合について を提案し、各首長を交え活発な議論を展開しました。(別紙資料1)

また、県から提案の「市町村と県の業務の共同処理の実施検討(県税及び市町村民税の徴収一元化組織の検討)」について、松本町長は「中部地区では、広域連合で市町から委託を受けた税の徴収業務を取扱っており、さらに市町の税務職員を広域連合に派遣することにより専門性も身につけ、今では本町でも差し押えや処分も可能となり、徴収率も向上してきた。今、いきなり一元化では過去の努力が報われない。そもそも市町村税の賦課徴収は、市町村が責任を持って行うべきもので、他に丸投げをすべきものではない。まずは県内の税務担当者が一堂に会して検討してみてもどうか」と意見を述べたところ、知事は「今後、税務担当で検討をさせたい」と答弁しました。

2 11月16日~19日、今年9月に台湾台中県で催された『鳥取週間』の答礼のため、鳥取県(衣笠克則文化観光局長ほか)が台中県を訪問されるのにあわせ、この機会に今後の台中県内のしかるべき鎮郷との友好交流を推進するため、本町から山口副町長と田中企画振興課長が同行しました。

あわせて、台中市内で『台湾誘客 鳥取県冬・春PRキャンペーン』説明会が県主催で開催されましたので、同席し『青山剛昌ふるさと館』を中心に北栄町の魅力を約60名の現地エージェントに向けて宣伝誘客活動をしました。また、副町長が現地ラジオ2局の番組に出演し、大いに北栄町の魅力を宣伝しました。

交流関係については、まず公式訪問した台中県庁で、北栄町から友好交流のテーマとして農業や子どもたちの相互交流から始めたいとの意向を伝え、台中県内で交流するに相応しい鎮郷の紹介並びに仲介と今後の交流への協力を依頼したところ、黄仲生台中県長から今年9月に北栄町団が訪問した『瑞井国民小学校』や『大肚

郷農会』のある大肚郷（概要：別紙資料2）を紹介され、あわせて「この交流について台中県として積極的に支援する」と表明していただきました。

翌日、北栄町と鳥取県（交流推進課2名）で大肚郷公所（庁舎のこと。）を訪問し、林汝洲郷長と会見しました。

この時点ですでに大肚郷には台中県庁から連絡が入っており、北栄町の申し入れに対し林郷長は「今日を初めてとし、友好関係を構築し、是非「友好提携」につなげたい。できれば、来年7月のすいか・ながいも健康マラソン大会にあわせて農会や子どもたち、PTAのメンバーと一緒に北栄町を訪問してみたい」との前向きな意思表明をいただきました。今後の大肚郷の国際交流担当部署を「民政課」とするという決定をされ、その場で白峨嶋民政課長を紹介されました。

その後、台湾外交部（台北市）を訪問し、日本事務会文教組（亜東関係協会の業務を兼務）の張組長と李組長に面会し、今回の訪台の趣旨を説明し、あわせて「大肚郷」との相互交流について協力要請したところ、支援を快諾していただきました。

町としては、来年度から交流先を大肚郷と定め、子どもたちや農業関係、スポーツなどの分野から相互交流を始めてみたいと考えています。

- 3 11月18日、TCC本社会議室において、鳥取中央有線放送㈱の定時取締役会、引き続き株主総会が開催され、本町からは松本町長（代表取締役副社長）が出席しました。提案された議題は、第14期（平成20年度）上半期事業と会計の報告、下半期事業見込及び定款の一部改正の3議案で、いずれも原案どおり承認されました。

平成20年9月末現在の加入状況は、次のとおりです。

テレビ加入

全域総世帯数	17,435戸		
全加入者数	13,828件	（17件増）	加入率79.3%
うち北栄町加入者数	4,378件	（5件減）	加入率85.2%
うち湯梨浜町加入者数	4,907件	（8件増）	加入率83.5%
うち琴浦町加入者数	4,543件	（14件増）	加入率70.8%

インターネット加入状況（個人分）

全加入者数	3,678件	（105件増）	加入率21.1%
うち北栄町加入者数	1,237件	（30件増）	加入率24.1%
うち湯梨浜町加入者数	856件	（37件増）	加入率14.6%
うち琴浦町加入者数	1,585件	（38件増）	加入率24.7%

（ ）増減数は、今年度増減件数累計

- 4 11月26日、来年度「第4回北栄砂丘まつり」の開催に向けての検討委員会が開かれ、尾嶋前実行委員長ほか趣旨に賛同するメンバー10名が出席しました。その結果、第4回北栄砂丘まつりを、次のとおり開催することが内定されました。

開催月日等 8月23日（日）午後3時 開会

開催場所 未定

内容等 昨年並みの規模・内容を予定
 その他 名称の変更を検討（案：「北栄夏まつり」）

5 11月28日、ほくえい地域づくりフォーラムを大栄農村環境改善センター青年研修室で開催しました。参加者は、各自治会役員さんを中心に25名でした。このフォーラムは、単町補助事業である「地域の自立・活性化活動支援事業」をより多くの自治会や活動団体に紹介し、活用していただくために開催したものです。内容は、今年度事業実施団体の活動報告と県内他市町村のまちづくり優良団体や活動家による講演会です。報告団体と講演会の演題、講師は次のとおりです。

（報告団体）

大島の盆踊り復活 大島自治会（代表 辻 正男会長）

竹炭・竹酢で環境にやさしいまちづくり 竹炭北条（代表 山本義憲）

（講演）

演題「この村はみんな元気～里山元気塾からのメッセージ」

講師 小谷 博徳氏（日野町 里山元気塾 塾長）

6 11月29日、北栄町観光協会主催の「平成20年度北栄町ジゲの食材を楽しむ会」がグリーン大栄で開催され、町外者29名、町内者38名の合計67名が参加し北栄町の旬の味を楽しみました。

参加者は、町産の新鮮野菜や特産加工品を使った創作料理に、町産の地酒や新酒ワインで味わいました。今後、町外への情報発信や創作料理を提供する場の設置などが課題と考えます。

7 青山剛昌ふるさと館の入館等実績

	入館者数	うち有料入館者数	入館料
11月分	4,219人	3,765人	2,111,700円
通計	50,155人	45,700人	25,540,900円
前年11月分	3,753人	3,417人	1,971,150円
前年通計	64,909人	56,028人	31,939,050円

8 レークサイド大栄主催のG・G大会を開催しました。

期日	大会名	募集人員	参加者数
11/11	第56回ふれあいGG大会	256人	179人
11/19	第59回オープンGG大会	216人	125人
11/26	第42回メンバーズGG大会	会員限定	100人
前年11/7	第49回ふれあいGG大会	216人	256人
前年11/21	第52回オープンGG大会	216人	177人
前年11/28	第36回メンバーズGG大会	会員限定	152人

=町 民 課=

1 幼保一元化施設のあり方検討委員会について、10月29日に第4回、11月19日に第5回の検討委員会を開催しました。

(1) 第4回検討委員会では、提言をまとめるため、事務局から柱となる次の5項目について提案し協議しました。

項目

理念 施設の構造 拠点のあり方 保育・教育内容 施設整備

主な意見

- ・年齢ごとの保育、異年齢交流の保育どちらも重要であるが、まず年齢に応じた保育をしっかりと保障すること。
- ・保育の質より、近くにあることを第一に希望する。
- ・施設は今のままで、中身を充実してほしい。
- ・幼稚園と保育所が互いに刺激しあい、幼児教育が高まる。幼稚園は複数年の教育とするのが望ましい。
- ・提言をまとめるにあたっては、直近の課題、中長期的な課題を整理しながら話し合うのがよい。

(2) 第5回検討委員会では、今後の進め方について協議しました。

スケジュール

12月・施設見学(町内全施設)

- ・保育所、幼稚園の現状と課題についての研修
- ・検討委員会

1月・中間報告

2月・提言

施設見学、研修により、いままでの漠然とした思いをより具体的にしてもらい、理想のイメージを語る意見集約から提言につなげる。

=税 務 課=

1 11月26日、北栄町町税等滞納整理対策会議を開催しました。町税をはじめ各使用料等の10月末の徴収状況を確認し、特に昨年と比較して税については徴収率が落ちている状況をふまえ、12月を特別徴収月間として取り組むこととしました。また、町税をはじめ保育料、町営住宅使用料、下水道使用料・負担金もあわせ、15日を期限とした納付催告書、出頭通知、差押え予告を12月5日に発送する予定としています。以後、年末まで滞納処分を行っていくこととしました。

2 11月28日、役場会議室において、差押え財産の公売を行いました。約90の方に参加していただき、公売品279点の内196点を公売しました。この日の売上額は146,149円で、すべて滞納分の税金へ充当しました。

= 健康福祉課 =

- 1 10月31日、第2回北栄町介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定委員会を14名の委員の出席により開催しました。第4期介護保険事業計画（平成21年度～23年度）に係る北栄町の人口と認定者数の推移、介護保険サービス量の見込みについて説明し話し合いを行いました。なお、今後2回開催し、第4期介護保険事業計画を策定することにしています。
- 2 11月5日、北栄町障害者福祉施策推進委員会を11名の委員の出席により開催しました。障害福祉サービスや施策の実施状況について話し合い、今後の障害福祉計画見直しに向けてのスケジュールを確認しました。住民の意見を聞き計画に反映させるため、12月20日に大栄健康増進センターにおいて障害福祉に関する一般住民との意見交換会を開催することを決定しました。なお、今年度中に障害福祉計画第2期計画（平成21年4月～平成24年3月）を策定することにしています。
- 3 11月8日、9日、北栄町社会福祉センター及び大誠体育館において開催された社会福祉協議会主催の「福祉まつり2008」において、「高齢者なんでも相談コーナー」を開設し、認知症に関するビデオ上映や掲示、物忘れのタッチパネル体験等認知症予防や介護予防の啓発を行いました。また、町民を対象に福祉講演会を開催し、社団法人認知症の人と家族の会全国理事・鳥取県支部代表世話人の吉野立氏を講師に「認知症の人の思い、家族の思い」と題して講演を行いました。参加者は78名でした。



- 4 11月9日、西穂波自治会館において介護予防講演会を開催しました。三朝温泉病院主任言語聴覚士の荒尾かず子さんを講師に「お口の元気は体が元気！頭も元気！」と題して講演を行いました。敬老会の前に講演会を開催し、高齢者と地区役員23名の参加がありました。
- 5 11月10日～14日までの5日間、大栄庁舎健康福祉課及び税務課の窓口で、また、11月25日～12月2日までの6日間、北条庁舎の相談室において、長寿医療制度相談会を開催しました。相談会は、制度、保険料額の変更・納付方法など1人ひとりのケースに合わせた説明をし、相談を受けることで制度の周知を図り、不明な部分を理解していただくことを目的に開催したものです。なお、北条庁舎では健康福祉課及び税務課の担当職員が対面で相談を行っています。

また、11月8日、9日には、ケーブルテレビTCCにおいて厚生労働省制作の啓発用DVD「長寿医療制度について」(15分)を放映しました。

6 11月19日、大栄庁舎及び北条健康福祉センターにおいて、会計検査院第2局厚生労働検査第1課による会計検査を受検しました。受検した事業は、厚生労働省所管の国庫補助事業による実施した以下の事業です。指摘事項はありませんでした。

- ・保健事業(平成17、18年度)
- ・介護保険事業(平成17、18年度)
- ・地域支援事業(平成18年度)
- ・介護予防拠点整備事業(平成11～18年度)
- ・在宅福祉事業(平成17、18年度)

7 国保被保険者資格証明書交付の取扱いについて

国民健康保険制度の健全な運営を行うためには、国保税の収納確保は非常に重要であり、また税負担の公平性を保つため、短期被保険者証や資格者証の交付を行っておりますが、その交付にあたっては滞納者の実態の十分な把握が必要と考えています。短期被保険者証は、納付相談機会の確保を重点におき、滞納者の実情を考慮しながら交付をしています。また、資格者証の交付は、特別な事情がないにもかかわらず、長期にわたり保険税を滞納している者に対して行っておりますが、現在、乳幼児や義務教育児童・生徒、公費負担医療の該当世帯はありません。

8 今後の行事予定は次のとおりです。

- ・12月16日(火)午前10時から、認知症の人の「家族の集い」

家族の集いは、認知症の人を介護する家族が集まって、参加者同士が日頃の思い、介護の苦労や悩み、不安を気軽に語り合うための会です。今回は、第1回として、認知症の人と家族の会鳥取県支部代表世話人の吉野立氏を招き、北条健康福祉センターにおいて開催します。また、今後、毎月第3火曜日に計3回開催することとしております。

= 産業振興課 =

1 11月6日、ねばりっこ加工品開発の中間検討会を中央公民館で開催しました。ねばりっこ加工品研究会、長芋生産部、県園芸試験場、JA 営農センター、産業振興課等の関係者約30名が参集し、ねばりっこを使用した加工品で「ぶどう餅」、「チップス」、「米粉パン」の試食モニタリングと、ねばりっこと砂丘長芋、他産地の各種山の芋の食味比較試験も行いました。

2 11月8、9日、食のみやこ鳥取県フェスタがコカ・コーラウエストパーク(鳥取市布勢総合運動公園)で開催されました。北栄町からは、長芋を使ったお好み焼き(長

芋生産者団体)、ねばりっこ加工品(ねばりっこ加工品研究会・産業振興課)、北栄町の観光PR(企画振興課)、ワイン(北条ワイン)、ハム(相模ハム)等を出店しました。

北栄町産長芋を使ったお好み焼きは、柔らかく美味しいと、2日間とも昼には完売しました。また、長いも新品種「ねばりっこ」の粘りを見るデモンストレーション、試食アンケートにも沢山の人が関心を持っていました。

- 3 11月25日、除雪対策会議を中央公民館会議室で開催しました。町内の建設業者、水道業者、運送業者等協力業者16社に、町道と公共施設駐車場の除雪について説明とお願いをいたしました。

なお、除雪期間は12月1日～3月31日までの間で、積雪が15cm以上の場合に行うことにしています。

= 農業委員会 =

- 1 11月10日、平成20年第11回農業委員会総会を開催し、次のとおり審議決定されました。

区 分		件数	面積(m ²)
農地法第3条受理	畑	1	3,188.00
農地法第20条受理(賃貸借の解約)	畑	3	3,342.00
農用地利用集積計画受理	田	3	11,463.00
	畑	7	43,426.00
	計	10	54,889.00

- 2 11月11日、農業者年金友の会北条支部の視察研修会を行いました。

- ・視察研修先 阪本資料館、大山乳業農業協同組合
- ・参加者 25名

= 環境政策課 =

- 1 11月の「北条砂丘風力発電所」の稼働状況は、次のとおりでした。

売電電力量： 1,947,360 kWh 達成率： 90.3% CO₂削減量： 1,080.8 t
 売電収入： 23,003,190 円

- 2 「北条砂丘風力発電所」の見学状況は次のとおりでした。

月 日	見 学 者	参加人数
11月 5日	日本風力エネルギー協会	41人
11月 9日	中国地域エネルギーフォーラム	24人
11月 10日	山口県周南市 櫛浜地区社協	19人
11月 21日	奈良県広陵町	26人
11月 27日	倉吉高等技術専門学校	5人

3 住宅入居状況 11月末

(1) 町営住宅入居状況

住宅名	全戸数	入居戸数	空き戸数	募集期間	備考
由良宿団地	60	59	1		12月1日
六尾北団地	45	45	0		
向山団地	15	15	0		
中央団地	8	8	0		

(2) 県営住宅入居状況

住宅名	全戸数	入居戸数	空き戸数	募集期間	備考
栄第1団地	8	8	0		
栄第2団地	8	8	0		
大野団地	6	6	0		

= 上下水道課 =

- 11月7日、第3回下水道使用料審議会を開催しました。下水道使用料について前回の審議会で提言のあった各種条件に基づくシミュレーションを資料として協議されました。結果、平成30年度に使用料で賄うべき費用を100%使用料で充足することを目標とし、平成21年度から3年ごとに同率で改定する方針を確認しました。次回は、具体的答申案について協議する予定です。
- 11月12日、中国地方整備局において、国土交通省と中国5県から各県1自治体により「平成20年度下水道行政の推進に向けた意見交換会」が開催され、町から松本町長、担当職員が出席しました。意見交換会では、下水処理場の統廃合、処理場管理委託についての合特法との関連、処理施設の規模変更についての規制緩和、下水道借換債の更なる緩和措置、下水汚泥の減量化策の技術支援、処理場におけるノロウイルス対策などの課題について提言及び意見交換し、国に対し可能な支援をお願いしました。今回提言された課題については、本省内部で検討され、結果については国土交通省HPに掲載される予定です。
- 11月20日 環境省所管の合併処理浄化槽事業の会計検査を受検しました。結果は、特に指摘事項もなく無事終了しました。

・検査対象・・・平成18、19年度施工分（浄化槽48ヶ所）

= 教育総務課 =

- 11月10日、第13回教育委員会臨時会を開催しました。議事は次のとおりです。
 - ・区域外就学について
 - ・北栄町教育委員会委員長の選挙について
 - ・北栄町教育委員会委員長職務代理者の指定について

教育委員長 吉田助三郎（由良宿5区） 任期1年

- 2 11月16日、平成21年度町立北条幼稚園入園希望者に対する説明会を開催し、幼稚園の概要等について説明を行いました。出席者は34名でした。
- 3 11月18日、徳島県名^{みょうざい}西郡教育委員会連絡協議会（神山町・石井町の教育委員10人と事務局員2人）が北条小学校・北条中学校へ来校され、小・中連携強化事業の取り組みについて研修をされました。
- ・当日の交流授業 小学2年生と中学1年生が共同で育てたさつまいもの収穫祭
- 4 次のとおり、教育委員会及び県中部教育局による計画訪問を実施しました。
- ・10月31日 北条中学校 ・11月5日 北条幼稚園
 - ・11月10日 北条小学校 ・11月19日 大栄小学校・大栄中学校
- 5 次のとおり、学校給食センターの施設統合計画に伴い、北条学校給食センターで調理した給食の試食会を開催しました。当日参加された方からは、大変温かったとの意見をいただきました。
- ・11月11日 大栄中学校 参加者 保護者6名・町教育民生常任委員5名
副町長、教育長他職員16名
 - ・11月26日 大栄小学校 参加者 保護者21名
- 6 次のとおり、業務を発注しました。 （単位：円）

入札日	業務名	内 容	指名業者数	入札回数	予定価格	納期
				落札業者	契約金額	
11/25	大栄小学校温風暖房機購入業務	FF式温風暖房機3台	3社	1回	1,081,500	12/2
				(株)ベクト総業	764,400	

- 7 11月25日、第14回教育委員会定例会を開催しました。議事はありませんでしたが、北条小学校校舎改築工事の進捗状況並びに北条小学校及び大栄小学校PTAより陳情、要望のあった内容の報告と全国学力調査に関する情報交換を行いました。

= 生涯学習課 =

- 1 10月25日～11月16日までの間、北条歴史民俗資料館において「鳥取県立博物館所蔵 前田寛治素描展～ふるさと 東京 そしてパリ～」を開催しました。前田寛治の素描40点を展示し、あわせて、寛治も影響を受けた本町出身の思想家で最近、再評価されている旧制倉吉中学で同級だった福本和夫の著書等のコーナーを設置しました。入館者数は、413名でした。

- 2 11月3日～15日までの間、北栄町中央公民館において、「第4回北栄町美術展」を開催し、洋画・日本画・書道・写真・彫刻・版画・工芸・ちぎり絵・切り絵の9部門に、町内で様々な文化活動をされている方々の力作、143点を展示しました。入場者数は、605名でした。

- 3 11月1日、中央公民館大栄分館において、船上山少年自然の家 指導員山根光昭氏の指導により大栄と北条の小・中学生の交流と仲間づくりを目的として、簡単なレクリエーションと炭火でのバウムクーヘンづくりを行いました。参加者は8名でした。

- 4 11月8日・9日、第63回米子～鳥取間駅伝競走大会が米子市東山陸上競技場をスタート、鳥取県庁をゴールとする全長116.5km15区間で、一般の部42チーム、高校の部18チーム計60チーム参加のもと行われました。北栄町は、一般の部に2チーム出場し、Aチームが総合10位、一般6位、Bチームが総合51位、一般35位と健闘しました。

- 5 次のとおり子育て学習講座を開催しました。
 - ・11月12日 中央保育所 保護者26名
 講師 役場総務課 松尾大介主事
 題目 「私の思うこと」
 内容 人権同和問題から自分の子育てを振り返り、子どもは素直で純粋なのになぜ差別意識を持つようになるのか。親の影響を受けやすい子どもたちのために親は差別を見抜く力をつけるため日々の学習が大切であることなどを学習
 - ・11月12日 大誠保育所 保護者86名
 講師 役場健康福祉課 伊垢離順紅課長補佐
 題目 「生活リズムは元気の基本」
 内容 生活リズムや体内リズムを自然にあわせるよう普段から心がけ、まず毎朝早起きをし、しっかり朝日を浴び、朝食をとり、昼間はたっぷり運動し、夜は十分な睡眠をとるようにしていくことが子どもたちの健やかな発育に大切なことなどを学習
 - ・11月18日 東保育所 保護者22名
 講師 役場健康福祉課 伊垢離順紅課長補佐
 題目 「良い生活リズムは元気のもと」
 内容 基本的な生活習慣として早寝、早起き、朝ごはんを取るといった生活リズムをつくるよう普段から心がけ、夜は十分な睡眠をとるようにしていくことが子どもたちの健やかな発育に大切なことなどを学習
 - ・11月26日 大谷保育所 保護者15名
 講師 役場子育て委員会事務局人権同和教育課 堀江純子人権教育推進員
 題目 「子どもの心によりそって～こころを育てる」

内容 人権同和問題を通して子どものSOSを受けとめる大人、子どもと向き合い一緒に考える大人をめざし、学習会等を通して、自己の在り方や生き方を見つめ直し、人権感覚、人権意識を高めていくことが子育てにも大切であるということを学習

6 11月26日、第2回社会教育委員会(公民館運営審議会)を開催しました。会では、平成20年度各課の課題と目標をもとに、子育て支援講座、アザレアのまち音楽祭、すいか・ながいも健康マラソン大会、チャレンジデー、図書館を語る会、人権同和教育小地域懇談会等重点事業の実施状況について経過報告を行いました。

委員からは、実行委員会による事業について、事務的なことは引き続き行政に関わってもらいたい等の意見がありました。出席委員は9名でした。

7 11月27日、千葉県幕張メッセにおいて、町体育指導委員の小椋一四氏(現職64歳)が体育・スポーツの振興に長年(30年勤続)功績のあった者として全国体育指導委員研究協議会より表彰を受けられました。

8 今後の行事予定は次のとおりです。

(1) 12月7日(日)午前9時40分から 第31回北条砂丘クロスカントリー大会
大会は、北条オートキャンプ場を中心とした周辺の松林や海岸を走る2.4km、4km、6kmの3コースで行われます。466名から参加申込みがありました。

(2) 平成21年1月1日(木)午前9時30分から 第39回北栄町元旦マラソン&ウォーキング大会
大会は、北条農村環境改善センター周辺の3kmと1kmのコースで行われます。

(3) 平成21年1月3日(土)午前10時から 平成21年北栄町成人式
式は、新成人の新しい門出を祝福するため、大栄農村環境改善センターにおいて開催します。参加予定者は221名(北条地区106名・大栄地区115名)です。

= 人権同和教育課 =

1 11月15日~17日の3日間、北条文化会館・大野児童館で「第28回北栄町北条部落解放文化祭」が開催されました。

作品展示、芸能発表、意見発表と盛会に催され、地元の人々はもとより周辺地域の人々、さらに大栄地区からも参加していただき、多くの参加者でにぎわいました。

3日間で493名の方が訪れました。

2 11月中に、次の事業所、学校等において人権問題(教育)研修会が開催され、人権教育推進員が指導・助言にあたりました。

・11月12日 大栄中学校2年生

参加者 81名

- ・ 11月14日 鳥取県中部農業共済組合（東園） 参加者 22名
- ・ 11月17日 大栄小学校6年生保護者 参加者 55名
- ・ 11月19日 （株）新興螺子（岩坪） 参加者 11名
- ・ 11月25日 （有）中原設備商会（西園） 参加者 7名
- ・ 11月26日 大谷保育所保護者会 参加者 15名

3 11月21日、大栄文化センターで第23回北栄町大栄部落解放文化祭第2回実行委員会を開催しました。実行委員20名が出席し、今後の取り組み、役割分担を話し合いました。

- ・ 第23回北栄町大栄部落解放文化祭 開催期日：12月13日（土）～15日（月）

4 9月から11月にかけて開催しました人権同和教育小地域懇談会並びに同和教育交流研修会を終了しました。

小地域懇談会では、自治会のみなさんが主体となって、日頃生活の中で感じていることや実体験をもとに話し合いを行い、一人ひとりが人権尊重の視点で身のまわりを振り返りながら、人権問題に対する認識を深めました。参加者からは「普段気づかなかったことに気づいた」「話し合いの場で年に1回くらいは意識を問い直すことは大事」など、新たな気づきや学習の必要性を感じている意見が多く聞かれた一方で、人権に対する他人事意識から「参加者が少ない」「毎回顔ぶれが同じ」などの意見もありました。このことについては、12月19日（金）に開催します人権同和教育推進指導員会議において、参加者の意見やアンケート結果の分析を踏まえて成果と課題を精査し、来年度以降の取り組みに活かすこととしています。

人権同和教育小地域懇談会

44自治会 参加者1,112名（平成19年度実績 49自治会 1,015名）

同和教育交流研修会

18自治会（大栄地区） 参加者186名（平成19年度実績 大栄地区180名）